

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		広報活動事業						予算事業名		広報活動経費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				02	01	03	1201	経常経費						
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分		主要事業				
		5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり (市民参加・広												
		②広聴広報の推進								秘書課				
		3広報活動の推進						担当課係等		広聴広報係				
事業期間		継続 (年度～令和 3年度)												
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
受け手側が, 求める情報をわかりやすく伝達することにより, 市政に対する理解と協力を得るとともに, 広聴活動による民意の聴取と合せて, 市民と対話のある広報活動をめざす。また, 広報紙配布未世帯を解消することをめざす。							市の行政情報を, 適時に分かりやすく全市民に伝えるために, 広報結城, お知らせ版を発行した。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
・ 広報媒体の編集発行 (市勢要覧 4年に1回, 市報毎月1回, お知らせ版毎月2回)							・ 市民							
・ 市ホームページの運用・管理														
・ 市公式フェイスブックの運用・管理														
・ 市公式ツイッターの運用・管理														
・ 結城ケーブルテレビの活用 (広報番組・行政情報番組への出演・メール配信サービスなど)							【事業をとりまく環境の変化】							
・ 報道機関等への情報提供							SNS (フェイスブックやツイッター) の利用が拡大している状況であり, 従来の広報媒体である広報結城, お知らせ版の紙面での発行に加え, SNSをさらに活用し, 総合的なコミュニケーション機能の強化を進める。							
・ 広告掲載料収入の維持拡大														
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】						
・ 市ホームページ, 市SNSの運用・管理				・ 市ホームページ, 市SNSの運用・管理				・ 市ホームページ, 市SNSの運用・管理						
・ 結城ケーブルテレビの活用				・ 結城ケーブルテレビの活用				・ 結城ケーブルテレビの活用						
・ 報道機関等への情報提供				・ 報道機関等への情報提供				・ 報道機関等への情報提供						
・ 市勢要覧の作成														
・ 市公式LINEアカウント開設 (新規事業提案制度採用)														
■事業費														
				H30年度		R01年度								
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	12,747	14,807							
歳入計 (千円)				12,747		14,807								
歳出内訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)								
	08	報償費		27		55								
	11	需用費		8,611		284								
	12	役務費		52		114								
	13	委託料		4,019		14,317								
	14	使用料及び賃借料		4		3								
	19	負担金補助及び交付金		34		34								
歳出計 (千円) (A)				12,747		14,807								
伸び率 (%)						16.16								
備考	総合計画134ページ 予算書36ページ													

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	広報紙配布率	%	目標	93.00	93.00	93.00
	市内全世帯に対する配布世帯のカバー率※外国人世帯を除く		実績	91.40	0.00	0.00
	広報紙発行回数	回	目標	24.00	24.00	24.00
	毎月1日・15日にお知らせ版を発行する。		実績	24.00	0.00	0.00
成果 指標	ホームページアクセス数	件	目標	2400000.00	2400000.00	2400000.00
	パソコン版, スマホ版, 携帯版の総アクセス数		実績	2230000.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民に地元への関心を持ってもらい、積極的にまちづくりに関わってもらう。また、住んでいるまちへの郷土愛を育むためにも必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政にしか実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	いろいろな媒体（紙面、ホームページ、SNS、ケーブルテレビ）を使用することにより、より多くの市民へ市政情報を届けられる。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	各担当課からのSNSを利用した情報発信を増やしていくことにより、効率化が図れる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広報紙、ホームページ、ケーブルテレビ、報道機関などを目的に応じて活用し、広く必要な情報を発信しているので偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	広報紙の書体に誰でも見やすいユニバーサルデザインを採用するなどし、さらなる見みやすさの向上を目指す。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	報道機関への情報提供の増加により新聞紙面への掲載も多くなっている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
ホームページへのアクセス数も増加しており、市民が関心を持つ市政情報の提供がされている。市民の情報への要求スピードが年々早まって来ており、さらなる迅速な情報発信が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
SNSの活用を増やし、スマートフォン利用率の高い、若年・壮年世代への情報発信を強化する。広報紙の記事・レイアウト・文字量などをさらに見直し、見やすく親しみやすい紙面を心掛ける。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 広報結城については、数年来、同じ企画構成で発行しており、マンネリ化がみられるため、内容の見直しが必要であるとする。 また、お知らせ版については、発行回数、発行形態（広報ゆうきと一体化しての発行、情報発信の増加に伴う情報内容の簡略化等）等の検討・実施も必要ではないかと考える。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。